

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
剰余金の配当基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お問合せ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公 告 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.g-7holdings.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単 元 株 式 数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所 (証券コード7508)

ご 注 意

- (1)株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座 口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- (4)大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降当社の上場金融商品取引所は東京証券取引所になります。

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.g-7holdings.co.jp/>



オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7** ホールディングス

本社 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3丁目1番地の6
TEL 078-797-7700 FAX 078-797-7710



株 主 通 信

第38期 年次報告書
平成24年4月1日～平成25年3月31日



オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7** ホールディングス



代表取締役会長 木下 守

代表取締役社長 金田 達三

積極経営と効率化を通じて 安定成長を維持し、 高収益体質の実現と 企業価値向上に取り組みます。

G-7グループは、当期を「成長戦略元年」と位置づけ、創業40周年にあたる平成28年3月期の売上高1,000億円、営業利益40億円達成に向けて、新規出店やM&Aの推進、グループ内店舗の「モール化」による集客力の強化を図るほか、東南アジア出店や業務提携などの成長戦略に取り組みました。

られます。また、収益力の劣る店舗の閉店による営業損失の減少や、複合施設G-7モールの開設により、お客様の来店機会が大幅に増加したことも好業績実現に寄与しました。

Q 当期の業績とその要因について
ご説明ください。

A 第38期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の業績は、売上高が 82,623百万円(前期比8.5%増)、営業利益が2,622百万円(前期比20.4%増)、経常利益が2,933百万円(前期比30.3%増)、当期純利益が1,345百万円(前期比86.1%増)で、増収増益となりました。その要因として、オートバックス・車関連事業におけるM&Aや店舗拡大、業務スーパーの新規出店などによる売上の増加が挙げ

Q 来期の事業方針と数値目標について
お聞かせください。

A 来期は、グループ全体のテーマとして「個店収益力強化」を掲げ、経費削減や一人当たりの生産性向上、適正在庫に取り組みまいります。また、グループ各社の連携を図り、グループ内のネットワークを活かし、総合力の向

上にも注力いたします。

来期の目標としましては、売上高86,000百万円(前期比4.1%増)、営業利益2,800百万円(前期比6.8%増)、経常利益3,000百万円(前期比2.3%増)、当期純利益1,500百万円(前期比11.5%増)を計画しております。

Q G-7ブランド力の強化とグループ総合力を活かした成長戦略についてご説明ください。

A 当社グループでは、グループの一体感を強化し、ブランドの市場浸透を図るため、昨年12月に、主要連結子会社5社の社名を「G-7」を冠した社名に統一しました。これにより、オートバックスを展開するオートセブンは「G-7・オート・サービス」、業務スーパーを展開するサンセブンは「G-7スーパーマート」、セブンランニングは「G-7デベロウ



▲G-7モール塩屋北

メント」、シーアンドシーは「G-7食品システム」、めぐみのさとは「G-7アグリジャパン」にそれぞれ変更しました。

また、グループが運営する複数店舗を一箇所に集約し、「G-7モール」としてモール化を昨年から進めており、集客力強化を図っております。このG-7モールでは、オートバックスでの購入や給油、車検サービスの待ち時間などに、業務スーパー、ビュッフェなどでの買い物や飲食を楽しんでいただけます。その結果、各店舗への来店に留まっていたお客様が、当社グループ他店舗にも来店され、大きなシナジー効果が期待されます。今後は、100円ショップ「ダイソー」のG-7モールへの出店が進み、さらにお客様の利便性を高め、集客効果が上がっていくものと思われま

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A G-7グループは、株主の皆様をはじめステークホルダーの方々のご期待にそぐべく、車関連、食品関連分野などの主軸事業をはじめ多様な事業分野において、収益性の向上を図り、企業価値の最大化に向けて努力を続けてまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

オートバックス バイクセブン 業務スーパー めぐみの郷 ダイソー

G-7グループは、お客様視点を基本に暮らしに役立つ多彩な事業を展開しています。

オートバックス 店舗拡大で競争力を強化

兵庫県下で「オートバックス」やガソリンスタンドの「オートバックスエクスプレス」、コーティングと洗車の「クリスタルセブン」を次々と開店しました。「オートバックスエクスプレス」や「クリスタルセブン」は「オートバックス」敷地内の開店となるため、シナジー効果による来店促進が期待できます。



オートバックス山崎
兵庫県宍粟市[平成24年10月23日開店]



オートバックスエクスプレス姫路
兵庫県姫路市[平成24年12月1日開店]



オートバックス洲本
兵庫県南あわじ市[平成25年3月15日譲受]



クリスタルセブン姫路店
兵庫県姫路市[平成24年12月1日開店]



クリスタルセブン洗車場西脇店
兵庫県西脇市[平成24年12月1日開店]



クリスタルセブン洗車場亀岡店
京都府亀岡市[平成25年3月15日開店]

バイクセブン 千葉県、大阪府の商業施設内に新規開店

地域密着型のバイクライフの総合店を展開するバイクセブンは、平成24年10月に千葉県では初出店となる「バイクセブン千葉蘇我店」を、また平成25年2月には大阪府堺市に「バイクセブン堺泉北原山台店」を開店しました。いずれも地元で親しまれている商業施設内への出店であるため、この立地を活かしてバイクライダーのみならずバイク未経験者への情報発信にも注力してまいります。



バイクセブン千葉蘇我店
千葉県千葉市
[平成24年10月25日開店]



バイクセブン堺泉北原山台店
大阪府堺市
[平成25年2月27日開店]

業務スーパー 三重、埼玉県に集中展開、名古屋ではG-7モールに出店

地域に愛されるスーパーマーケットをめざし全国展開を続ける業務スーパーは、平成24年10月に三重県で9店舗目となる「業務スーパー大山田店」を、12月に埼玉県で9店舗目となる「業務スーパーせんげん台店」を開店し、両県下でのドミナント戦略を進めています。平成25年2月には大阪府八尾市内の幹線道路沿いに「業務スーパー八尾志紀店」を移転し、新装開店しました。また、3月には「G-7モール名古屋みなと」内に「業務スーパー名古屋みなと店」を開店し、グループ内店舗間の相乗効果を活かした顧客維持と新規顧客の獲得に取り組んでいます。



業務スーパー大山田店
三重県桑名市[平成24年10月11日開店]



業務スーパーせんげん台店
埼玉県越谷市[平成24年12月15日開店]



業務スーパー八尾志紀店
大阪府八尾市[平成25年2月11日開店]



業務スーパー名古屋みなと店
愛知県名古屋市中区[平成25年3月21日開店]

農産物直売所 めぐみの郷 兵庫、奈良県下で出店を加速

平成24年11月に「めぐみの郷 篠山店」、12月に「めぐみの郷 塩屋北店」を、それぞれ「G-7モール」内に出店、同じく12月に、奈良県では4店舗目となる「めぐみの郷 京奈学園前店」を開店しました。



めぐみの郷 篠山店
兵庫県篠山市[平成24年11月1日開店]



めぐみの郷 塩屋北店
兵庫県神戸市[平成24年12月5日開店]



めぐみの郷 京奈学園前店
奈良県生駒市[平成24年12月7日開店]

ダイソー 100円均一ショップ「ダイソー」出店でモールの集客力強化

平成25年3月、当グループのダイソー1号店を「G-7モール岡山久米」に、2店舗目を「G-7モール名古屋みなと」に開店しました。顧客の利便性向上に寄与する店舗の投入で、G-7モールの地域への浸透を図ります。



ダイソー岡山久米店
岡山県岡山市[平成25年3月20日開店]



ダイソー名古屋みなと店
愛知県名古屋市中区[平成25年3月21日開店]

業務スーパーを中心に、お客様の美味しい、楽しい暮らしをサポート。

株式会社 G-7 スーパーマーケット

G-7スーパーマーケット(旧サンセブン)は、業務スーパー最大の加盟店。平成25年3月現在、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県など関東圏をはじめ、愛知県、三重県、岐阜県、大阪府、兵庫県、福岡県で103店舗を運営しています。また、業務スーパーに加え、惣菜ショップ「Green's K」も展開しています。今後は、関東および中部圏を中心に、店舗展開を図ってまいります。

G-7スーパーマーケットの売上高と営業利益の推移



■ 店舗名称と各店舗数(平成25年3月31日現在)

全店舗数108

店舗名	事業内容	店舗所在地	店舗数
業務スーパー	エブリデロープライスをモットーとする、一般消費者も購入可能な業務用食品スーパー。株式会社神戸物産をFC本部とする業務スーパーは、平成25年3月末現在631店舗。そのうち、G-7スーパーマーケットが運営する店舗は103店舗と、全体の約1/6を占める。	東京都	9
		神奈川県	11
		埼玉県	9
		千葉県	9
		愛知県	21
		三重県	9
		岐阜県	2
		大阪府	11
		兵庫県	18
		福岡県	4
デリスタイルマーケット「Green's K」	1g1円での各種惣菜の量り売りを行うほか、できたて弁当を販売。	兵庫県	2
		神奈川県	1
		愛知県	1
めぐみベーカリー	100円均一で焼きたてパンを製造・販売。	神奈川県	1

会社概要

株式会社G-7スーパーマーケット
※平成24年12月25日、株式会社サンセブンは、株式会社G-7スーパーマーケットへ社名変更しました。
 設立 平成14年4月17日
 資本金 4億595万円
 代表者 代表取締役社長 中藤 務
 本社 〒654-0161 兵庫県神戸市須磨区弥栄台4丁目8-1
 TEL:078-794-3700(代)
 ホームページ
<http://g-7supermart.co.jp/>



代表取締役社長 中藤 務



業務スーパー 鴨居店



Green's K 塩釜口店



めぐみベーカリー 鴨居店

地域のニーズにしっかりと応えるG-7の店舗ネットワーク。

お客様の毎日をもっと快適にするために、国内、海外で幅広く事業を展開しています。

G-7ホールディングスは、車関連事業、食品スーパー事業など多彩な事業を通じて、地域の皆様に便利で楽しい暮らしをお届けしています。今後も、お客様視点に立ち、グループの総合力を生かした魅力あふれる事業を展開してまいります。

近畿地方

「オートボックス」	35店舗	「Green's K」	2店舗
「業務スーパー」	29店舗	「良品買館」	2店舗
「スーパーオートボックス」	2店舗	「バイクセブン」	3店舗
「タイヤ専門館」	1店舗	「nagomi」	4店舗
「オートボックスセコハン市場」	1店舗	「めぐみの郷」	18店舗
「オートボックスエクスプレス」	2店舗	「Green's K 鉄板ビュッフェ」	5店舗
「BPセンター」	3店舗	「神戸粉もん七つの壺」	2店舗
「クリスタルセブン」	5店舗	「旬菜ビュッフェめぐみ」	1店舗
「モータウン土山サーキット」	1店舗		

中国地方

「オートボックス」	5店舗
「オートボックスセコハン市場」	1店舗
「メガリサイクル王国」	1店舗
「良品買館」	1店舗
「バイクセブン」	1店舗
「ダイソー」	1店舗

九州地方

「業務スーパー」	4店舗
「バイクセブン」	1店舗

マレーシア

「オートボックス」	1店舗
-----------	-----



関東地方

「オートボックス」	7店舗
「業務スーパー」	38店舗
「バイクセブン」	2店舗
「良品買館」	1店舗
「Green's K」	1店舗
「Green's K 鉄板ビュッフェ」	2店舗
「めぐみベーカリー」	1店舗

中部地方

「オートボックス」	6店舗
「業務スーパー」	32店舗
「Green's K」	1店舗
「バイクセブン」	1店舗
「Green's K 鉄板ビュッフェ」	1店舗
「ダイソー」	1店舗

(平成25年3月31日現在)

事業区分	売上高構成比	事業内容	当期の概況
<p>オートバックス 車関連事業</p>	<p>40%</p>	<p>主 要 品 目:車(四輪・二輪)関連用品、部品、車両販売 運営子会社:G-7・オート・サービス、G-7モータース、他</p> <p>オートバックス 篠山店</p> <p>オートバックス 洲本</p>	<p>オートバックス・車関連事業につきましては、政府施策により車販売の売上が前期に比べ増加し、カーアクセサリーが堅調に推移しました。さらに冬季の降雪と寒波により、スタッドレスタイヤ、ホイール等の売上が好調でした。これに伴いタイヤ交換などのメンテナンスも増加しました。また、車検実施台数が過去最高となりました。出店につきましては、広島県の「オートバックス」3店舗(福山中央店、蔵王店、セコハン市場福山店)、兵庫県の「オートバックス」1店舗(洲本店)を譲受、新たに兵庫県に「オートバックス」を2店舗(篠山店、山崎店)、ガンリンスタンド「オートバックスエクスプレス」を2店舗(塩屋北店、姫路店)、「バイクセブン」を千葉県(千葉蘇我店)に1店舗、大阪府(堺泉北原山台店)に1店舗オープンしました。これにより売上高は331億52百万円(前期比9.2%増)、営業利益は17億18百万円(前期比2.0%増)となりました。</p>
<p>業務スーパー こだわり食品事業</p>	<p>56%</p>	<p>主 要 品 目:冷凍食品・加工食品販売、厳選食品の卸販売 運営子会社:G-7スーパーマート、G-7食品システム、上野食品</p> <p>業務スーパー せんげん台店</p> <p>業務スーパー 八尾志紀店</p>	<p>業務スーパー・こだわり食品事業につきましては、消費者の根強い節約志向を背景に、値下げや低価格のプライベートブランド商品を投入する食品スーパーが増加し競争が激化しています。このような状況のなかで、「業務スーパー」のドミナント戦略を進め、神奈川県に1店舗(潮田店)、埼玉県に1店舗(せんげん台店)、愛知県に2店舗(二川店、名古屋みなと店)、三重県に1店舗(大山田店)、大阪府に1店舗(八尾志紀店)をオープンし、積極的な店舗展開で知名度の向上に努めました。お客様の満足度を高めるため、低価格のプライベートブランドの冷凍食品や加工食品に加え、野菜・果物・精肉などの生鮮食品を充実させ、固定客増加と来店促進に注力しました。これにより売上高は464億61百万円(前期比7.7%増)、営業利益は12億55百万円(前期比7.3%増)となりました。</p>
<p>その他事業</p>	<p>4%</p>	<p>主 要 品 目:農産物の直売、リサイクル用品の買取・販売、不動産賃貸業、飲食店経営等 運営子会社:G-7デベロップメント、G-7アグリジャパン 他</p> <p>めぐみの郷 京奈学園前店</p> <p>めぐみの郷 塩屋北店</p>	<p>その他事業につきましては、低価格で食べ放題の「Green's K鉄板ビュッフェ」を千葉県に1店舗(千葉ニュータウン店)オープンしました。また、農産物直売所「めぐみの郷」は、プライベートブランドの加工食品の販売強化を図り、売上および利益の向上に努めました。出店につきましては、兵庫県に2店舗(篠山店、塩屋北店)、奈良県に1店舗(京奈学園前店)をオープンしました。なお、前期において収益力の劣る8店舗を閉店したこと等により、営業損失が大幅に減少しました。また、平成25年3月には、100円ショップの「ダイソー」を、岡山県(岡山久米店)に1店舗、愛知県(名古屋みなと店)に1店舗オープンしました。「ダイソー」は、グループ店舗を集めた複合化施設「G-7モール」に展開していく予定で、既存の併設店舗への来店促進と新たなお客様の創出を図るものです。これにより、売上高は30億10百万円(前期比14.0%増)、営業損失は1億54百万円(前期は営業損失4億45百万円)となりました。</p>

業績の推移 (単位:百万円)	
<p>売上高</p> <p>71,457 (11/3 第36期) 76,130 (12/3 第37期) 82,623 (13/3 第38期)</p>	<p>経常利益</p> <p>2,591 (11/3 第36期) 2,250 (12/3 第37期) 2,933 (13/3 第38期)</p>
<p>当期純利益</p> <p>701 (11/3 第36期) 722 (12/3 第37期) 1,345 (13/3 第38期)</p>	

▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (平成25年3月31日現在)	前期 (平成24年3月31日現在)
流動資産	13,751	11,939
固定資産	16,650	16,515
有形固定資産	11,678	11,694
無形固定資産	558	667
投資その他の資産	4,414	4,153
資産合計	30,401	28,455
流動負債	13,236	12,873
固定負債	6,606	6,079
純資産合計	10,558	9,502
負債純資産合計	30,401	28,455

▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	前期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	82,623	76,130
売上原価	60,338	55,552
売上総利益	22,285	20,577
販売費及び一般管理費	19,662	18,398
営業利益	2,622	2,178
経常利益	2,933	2,250
当期純利益	1,345	722

POINT① 貸借対照表

▶ 資産

当連結会計年度の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,946百万円増加し、30,401百万円となりました。これは主に、現金、預金および売掛金が増加したこと、たな卸資産が増加したこと等によるものであります。

▶ 負債

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ889百万円増加し、19,842百万円となりました。これは、主に未払法人税等が増加したこと、買掛金が増加したこと等によるものであります。

▶ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,056百万円増加し、10,558百万円となりました。

POINT② 損益計算書

▶ 売上高

売上高は、前連結会計年度に比べ6,493百万円増加の82,623百万円となりました。

▶ 営業利益・経常利益

営業利益は、前連結会計年度に比べ444百万円増加の2,622百万円、経常利益は前連結会計年度に比べ683百万円増加の2,933百万円となりました。

▶ 当期純利益

当期純利益は、前連結会計年度に比べ623百万円増加の1,345百万円となりました。

▶ 株式の状況

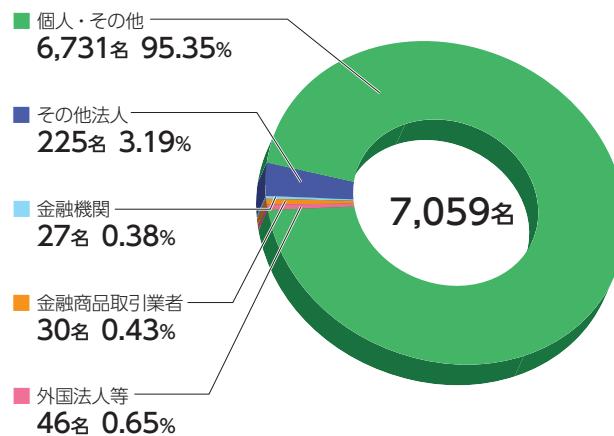
(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	52,000,000株	
発行済株式の総数	13,336,400株	
株主数	7,059名	
大株主(上位10名)		
株主名	持株数	持株比率
木下守	1,830千株	15.04%
木下智雄	1,829	15.03
有限会社キノシタファミリーサービス	1,154	9.48
関 稚奈巳	1,129	9.27
木下陽子	826	6.78
株式会社オートボックスセブン	337	2.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託)	182	1.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託)	173	1.42
G-7ホールディングス従業員持株会	111	0.91
野村証券株式会社	109	0.89

(注) 1. 当社は自己株式1,165,438株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

▶ 所有者別株主分布

(平成25年3月31日現在)



▶ 会社の概況

(平成25年3月31日現在)

商号	株式会社G-7ホールディングス G-7 HOLDINGS Inc.
設立	昭和51(1976)年6月18日
資本金	17億8,570万円
代表者	代表取締役会長 木下 守 代表取締役社長 金田 達三
本社	神戸市須磨区弥栄台三丁目1番地の6
事業内容	傘下の各事業会社を支配・管理する持株会社
従業員数	1,371名(グループ計)
ホームページ	http://www.g-7holdings.co.jp/

▶ グループ企業

(平成25年3月31日現在)

株式会社G-7・オート・サービス	株式会社G-7スーパーマーケット
株式会社G-7デベロップメント	株式会社G-7モーターズ
株式会社G-7食品システム	株式会社G-7アグリジャパン
上野食品株式会社	
G7INTERNATIONAL PTE.LTD.	
SEVEN FORTUNE MALAYSIA SDN.BHD.	
七福集团有限公司	
七福(上海)超市有限公司	

▶ 役員状況

(平成25年6月27日現在)

取締役会長 (代表取締役)	木下 守	取締役	奥本 恵一
取締役社長 (代表取締役)	金田 達三	取締役	小林 宏至
取締役副社長	木下 智雄	取締役(新任)	坂本 充
取締役	岸本 安正	監査役(常勤)	福田 弘
取締役	松田 幸俊	監査役	上甲 悌二
		監査役	西井 博生

(注) 1. 小林宏至氏および坂本充氏は、社外取締役であります。
2. 上甲悌二氏および西井博生氏は社外監査役であります。
3. 当社は、小林宏至氏および坂本充氏、上甲悌二氏および西井博生氏を、株式会社東京証券取引所および株式会社大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。